【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第３部門第２区分
【発行日】平成18年7月27日(2006.7.27)

【公開番号】特開2001-139453(P2001-139453A)
【公開日】平成13年5月22日(2001.5.22)
【出願番号】特願平11-329030
【国際特許分類】
Ａ６１Ｋ　8/00　(2006.01)
Ａ６１Ｑ　19/00　(2006.01)
Ａ６１Ｋ　8/67　(2006.01)
Ａ６１Ｋ　8/30　(2006.01)
Ａ６１Ｋ　8/49　(2006.01)
Ａ６１Ｋ　8/72　(2006.01)
Ａ６１Ｋ　8/06　(2006.01)
Ａ６１Ｋ　8/96　(2006.01)
【ＦＩ】
Ａ６１Ｋ　7/48
Ａ６１Ｋ　7/00　Ｈ
Ａ６１Ｋ　7/00　Ｃ
Ａ６１Ｋ　7/00　Ｄ
Ａ６１Ｋ　7/00　Ｊ
Ａ６１Ｋ　7/00　Ｎ
Ａ６１Ｋ　7/00　Ｋ

【手続補正書】
【提出日】平成18年6月8日(2006.6.8)
【手続補正１】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】特許請求の範囲
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】　（ａ）レチノイド類から選ばれる一種以上、（ｂ）カテキン類およびタンニン類から選ばれる一種以上、（ｃ）アクリル酸とメタクリル酸アルキルとの共重合体および（ｄ）塩基性物質を含有する、水中油型乳化系皮膚外用剤。
【請求項２】　レチノイド類が、レチノイン酸の各種異性体、その塩類、エステル類およびアミド類、並びにレチノールの各種異性体、そのエステル類、レチナールの各種異性体、そのアセタール類およびシッフ塩基から選択される一種以上であることを特徴とする、請求項１に記載の皮膚外用剤。
【請求項３】　カテキン類、タンニン類が、植物から抽出するポリフェノール混合物、または、単一物質であることを特徴とする、請求項１に記載の皮膚外用剤。
【請求項４】　前記メタクリル酸アルキルのアルキル基の炭素数が１０～３０であることを特徴とする、請求項１に記載の皮膚外用剤。
【請求項５】　塩基性物質が、アクリル酸とメタクリル酸アルキルとの共重合体の酸解離性基の対イオンとしての中和物質であることを特徴とする、請求項１に記載の皮膚外用剤。